

科目名	はり実技 5							年度	2026
英語科目名	Needle Practice 5							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	45	単位数	1	種別※	実習
担当教員	森田 義之 安齋 勉	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

**【科目の目的】**

- ・現代鍼灸術の1つであるトリガーポイント鍼療法の基礎が出来るようにする。
- ・鍼灸臨床における運動器疾患を理解できるようにする。
- ・1年、2年と行ってきた鍼灸実技とは異なったスタイルで出来るようにする。

**【科目の概要】**

骨指標を取ることができるようになり、筋肉を起始から停止まで確実に触れるように練習する。  
皮下において鍼先の方向を自在にコントロールできるように、刺鍼転向法を練習する。

**【到達目標】**

- A:骨指標、筋肉を実際の人体に描くことができるようにする。  
 B:人間の動作分析が出来るようにする  
 C:人体において皮下での鍼先方向を理解し、実践できる。  
 D:トリガーポイントに当てることができるようにする  
 E:実際の症状を理解し、原因部分を特定できるようにする。

**【授業の注意点】**

授業日数の4分の3以上出席しないと試験が受けられません。

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	全ての骨指標、筋肉を描くことができる	体幹四肢の骨指標、筋肉を描くことができる	筋肉を描くことができる	骨指標を描くことができる	骨指標、筋肉を描くことができない
到達目標 B	全ての動作分析ができる	四肢の動作分析ができる	体幹の動作分析ができる	頸部の動作分析ができる	運動学における用語が使えない
到達目標 C	目的の筋肉に鍼を当てることができる	鍼を自由に動かすことができる	鍼先を骨に当てることができる	皮下での鍼先方向がわかる	鍼を皮膚面垂直に刺すことができない
到達目標 D	再現痛を出すことができる	関連痛を出すことができる	得気を出すことができる	硬結に刺すことができる	硬結がわからない
到達目標 E	原因筋が見つけられる	運動検査ができる	伸長痛について理解している	収縮痛について理解している	原因が見つけられない

**【教科書】**

自作プリント

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験（80%）、当日課題の提出（10%）、出席状況（10%）

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		はり実技5			年度	2026
英語表記		Needle Practice 5			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 刺鍼法の基礎	皮下での鍼操作の基礎	1	
			2 頸部の筋肉投射①	僧帽筋、肩甲挙筋を投射できる		
			3 頸部筋への刺鍼①	僧帽筋、肩甲挙筋に刺鍼できる		
2	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	頸部の動作分析が出来る	1	
			2 頸部の筋肉投射②	頸板状筋、頭板状筋を投射できる		
			3 頸部筋への刺鍼②	頸板状筋、頭板状筋に刺鍼できる		
3	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	肩関節の動作分析ができる①	1	
			2 頸部への筋肉投射③	頭半棘筋、頭最長筋を投射できる		
			3 頸部筋への刺鍼③	頭半棘筋、頭最長筋に刺鍼できる		
4	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	肩関節の動作分析ができる②	1	
			2 頸部への筋肉投射④	胸鎖乳突筋を投射できる		
			3 頸部筋への刺鍼④	胸鎖乳突筋に刺鍼できる		
5	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	肩関節の動作分析ができる③	1	
			2 頸部への筋肉投射⑤	後頭下筋群を投射できる		
			3 頸部筋への刺鍼⑤	後頭下筋群に刺鍼できる		
6	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	腰部の動作分析ができる①	1	
			2 肩関節への筋肉投射①	三角筋、棘下筋を投射できる		
			3 肩関節への刺鍼①	三角筋、棘下筋に刺鍼できる		
7	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	腰部の動作分析ができる②	1	
			2 肩関節への筋肉投射②	肩甲下筋、大円筋を投射できる		
			3 肩関節への刺鍼②	肩甲下筋、大円筋に刺鍼できる		
8	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	股関節の動作分析ができる①	1	
			2 肩関節への筋肉投射③	上腕二頭筋、上腕三頭筋を投射できる		
			3 肩関節への刺鍼②	上腕二頭筋、上腕三頭筋に刺鍼できる		
9	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	股関節の動作分析ができる②	1	
			2 背部への筋肉投射①	最長筋、腸肋筋を投射できる①		
			3 背部への刺鍼①	最長筋、腸肋筋に刺鍼できる①		
10	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	股関節の動作分析ができる③	1	
			2 背部への筋肉投射②	最長筋、腸肋筋を投射できる②		
			3 背部への刺鍼②	最長筋、腸肋筋に刺鍼できる②		
11	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	膝関節の動作分析ができる①	1	
			2 背部への筋肉投射③	多裂筋、棘間筋を投射できる①		
			3 背部への刺鍼③	多裂筋、棘間筋に刺鍼できる①		
12	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	膝関節の動作分析ができる②	1	
			2 肩関節への筋肉投射③	多裂筋、棘間筋を投射できる②		
			3 肩関節への刺鍼②	多裂筋、棘間筋に刺鍼できる②		
13	鍼操作基礎	刺鍼法の確立	1 動作分析	膝関節の動作分析ができる③	1	
			2 肩関節への筋肉投射③	多裂筋、棘間筋を投射できる③		
			3 肩関節への刺鍼②	多裂筋、棘間筋に刺鍼できる③		
14	定期テスト	指導教員に学んだ鍼灸法を実践する	1 刺鍼法の練習	基本的な筋肉を投射、刺鍼する	3	
			2 実技試験	基本的な筋肉を投射、刺鍼できる		
			3 自主練習	今期学んだ技術を理解、実践できる		
15	個別評価	実技試験を個別に講義し今後の振り返りをする	1 刺鍼法の練習	基本的な筋肉を投射、刺鍼する	3	
			2 自主練習	実技試験をふまえ自分の技術レベルを理解できる		
			3 自主練習	後期実技の授業がイメージできる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等